

# 浜松市立(女子)、15年ぶり5回目の優勝!

# 男子は飛龍が連覇!

## 第57回静岡県高校総体・ソフトボール競技大会

雨で順延された第57回静岡県高等学校総合体育大会・ソフトボール競技大会女子準決勝・決勝と男子の決勝戦が5月30日(土)、富士市富士川緑地公園ソフトボール場で行われ、女子は浜松市立高校が城南静岡高校に投打で圧倒し、8対0で破り優勝、男子は飛龍高校が掛川工業高校を4対2で破り連覇、奈良県生駒市で開催される全日本高等学校ソフトボール選手権大会(インターハイ)の出場権を獲得。

なお、全日本高等学校ソフトボール選手権大会は女子が7月29日(水)から8月1日(土)、男子が8月4日(火)から8月7日(土)の間で行われる。

### 【女子決勝】

<b>浜松市立</b>	<b>1104020</b>	<b>8</b>	(バ)長谷川-小木(浜)、高野-櫻田(城)
<b>城南静岡</b>	<b>0000000</b>	<b>0</b>	【本】齋藤(浜)、【二】齋藤、松下(浜、)櫻田(城)

浜松市立が投打に圧倒し優勝!

浜松市立は初回齋藤の二塁打で先制。二回にも追加点を挙げリードを広げた。さらに四回には相手守備陣の乱れに乗じて4安打を集中、4点を加点し試合を優位に進め、終盤の六回にも齋藤が左翼越えに2点本塁打を放ち、ダメ押し。守っては先発の長谷川が城南打線を散發の4安打に抑え完封した。

### 【準決勝の結果】

<b>浜松市立</b>	<b>0004000</b>	<b>4</b>
<b>飛龍</b>	<b>2100000</b>	<b>3</b>
<b>城南静岡</b>	<b>00000001</b>	<b>1</b>
<b>常葉菊川</b>	<b>00000000</b>	<b>0</b>

(8回タイブレーカー)



優勝した浜松市立高ナイン

### 齋藤主将の談話

「(本塁打について)公式戦初めての本塁打で嬉しい。ゼロで抑える自信があったので、初回到点を取ったのでいけると思った。攻撃力が弱いので、我慢が勝負と思った。準決勝は捕逸、暴投で失点したので負けの雰囲気だったが、諦めずに戦ったのが良かったインターハイは春の雪辱を果たし、全国制覇を狙う。」



齋藤主将(左)と長谷川投手(右)

### 浜松市立・長谷川投手の談話

「制球が悪く出来は良くなかったが、皆に助けられた。春の選抜で大舞台を経験できたので、落ち着いて投げられた。準決勝は前半失点し負けと思ったが、皆が点を取ってくれたのが嬉しかった。全国大会までに制球力をつけ、頂点を目指したい。」

【男子決勝】  
掛川工業  
飛龍高校

200000 2  
011002X 4

(バ)高須-鈴木(掛)、野口-竹内(飛)  
【本】鈴木・正(掛)、【三】荒木、(掛)古敷谷(飛)  
【二】鈴木・勝(掛)、野口(飛)

飛龍高校が接戦を制し頂点に！

飛龍は同点で迎えた六回裏、一番・古敷谷のこの日4本目の安打を皮切りに、3安打を集中し、試合をものにした。投げては野口投手が掛川工業打線を二回の2点本塁打のみに抑え、栄冠に導いた。

掛川工業も幸先良く2点を先制し、高須投手も粘り強い投球を続けたが、あと一步及ばなかった。



連覇を果たした飛龍高校ナイン

#### 飛龍高校・安部厚志監督の談話

「初回到三塁打と本塁打で失点する拙い展開だった。野口は立ち上がりが課題。全国大会に向け全メンバーが良い部分を発揮できるよう、メンタルな部分を鍛えたい。国体東海ブロックは愛知の速球投手をどう攻略するか対策を考えて臨みたい。現段階では総合力で厳しい状況にある。」